

保護者のみなさん

園のみなさん

地域のみなさん

心身ともに健全な 子どもの育成をめざして

社会全体で力を合わせて!

就学前教育推進事業

事例集 NO. 8

平成23年12月15日 花巻市教育委員会



☆ 大きな賢治さんの梨、Get! ☆
(西公園保育園の子どもたち)

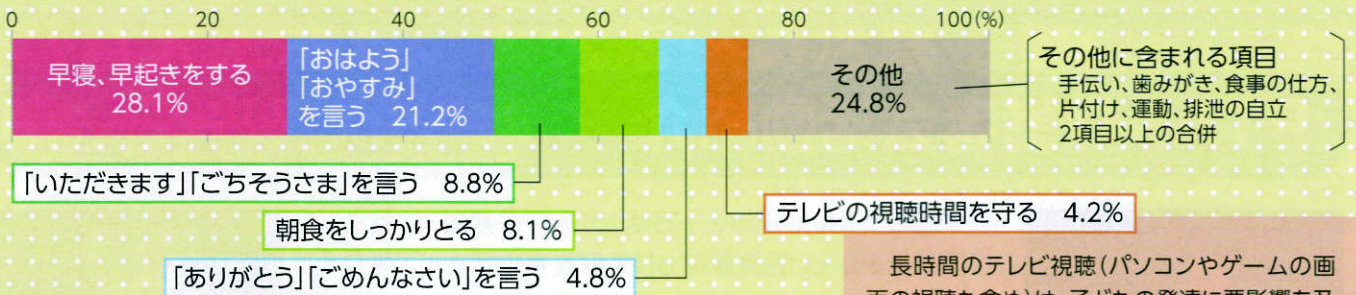
花巻市では、基本的な生活習慣を身に付けるとともに、周囲の環境や人と関わりながら活動したり、経験を基によく考えて行動したりすることができる「元気な子ども」「やさしい子ども」「考える子ども」の育成をめざし、幼児期からの取り組みを進めています。

来年度就学を控えた市内の年長児は、チェック項目を決め、家族と声をかけあって、「家族でニコニコチャレンジ」に取り組んでいます。今年度は、6～7月と11～12月の年2回実施予定で、現在2回目のチャレンジ中です。

地域の皆様からの温かい声かけが、励みになっている子どももいます。花巻市の子どもたちの健やかな成長を見守りながら、応援をお願いいたします。

第1回 「家族でニコニコチャレンジ」の取り組みの様子

「家族でニコニコチャレンジ」各項目に取り組んだ家庭の割合 (平成23年6～7月の取り組み結果)



市内の園に在園する年長児保護者の9割以上にあたる750名の保護者から取り組みの報告をいただきました。

「早寝・早起きをする」の項目を選択した家庭が最も多く、報告いただいた家庭の28.1%がチャレンジしました。逆に、「テレビの視聴時間を守る」は、選択した家庭の割合が最も少なく、4.2%のみでした。

長時間のテレビ視聴(パソコンやゲームの画面の視聴も含め)は、子どもの発達に悪影響を及ぼすといった報告があります。また、テレビをだらだら見てしまうことで、一日の生活リズムを崩してしまっている子どもも見られます。「テレビ視聴のルール」を決めることから、少しずつでも視聴時間を減らすよう働きかけています。

1回目の取り組みでは、次のような感想が寄せられ、子どもの生活の様子を確認するだけでなく、大人の生活や子どもとの関わり方を振り返るよい機会となったことがうかがわれました。

目標を決めると以前より早く布団に入る時間が早くなった。

自分から進んで、近所の人にも朝の挨拶をしていて感心した。近所の人から褒められて喜んでいた。

いつも言えると思っていた挨拶が、意外と抜けていた。当たり前のことができていないことに気づいた。

自分から自然に出てくる挨拶と促すものがあった。一言あるとなしでは、大違いだと思った。家族みんなで取り組みたい。

子ども本人が見たいテレビのみだと1時間以内なのだが、親の見たいテレビもついていると子どもも見えてしまい、守れなかった。